情 報 日 食

1981 NO. 3

特集・1981年7月31日シベリア日食,部分日食

✡	グラビア(ブラーツク郊外タルマにおける日食観測)					
✡	シベリア日食観測概要					
	(観測団結成経過と現地での輸送問題)	Щ	П	Œ	博	
✡	シベリア日食における本影と半影の移動	遠	Щ	御	幸	
✡	静止気象衛星写真でみる 7月 31日の 天気	大	越		治	
✡	7月31日の日食中の全国の空もよう	松	枝		弘	
✡	妙高高原における日食観測	Щ	本	威	一郎	
*	シベリア日食とその前後のプロミネンス	小池田		洋	子	
✡	各地の新聞記事から(北海道・東京・ソ連・韓国)					
*	コロナのフラットニングと微細構造について	秦			茂	

日食情報センター

編集後記

- 7月31日の日食は、シベリア、国内ともにおおむね、観測できたようです。シベリアへは 総勢115名ものエクリプス・ハンターが出かけ、ブラーツク郊外タルマに陣どった97名は、 わずかに雲に邪魔されながらも、すばらしいコロナとダイヤモンドリングが観測されました。 ケメロボ南方約150㎞のプリサエボの18名も快晴に恵まれ、観測は大成功だったようです。 シベリア日食観測隊の報告書の作成がすでに始まっているようです。成果が期待されます。
- ◎ 7月31日夜、日食情報センターの在留邦人会(シベリア日食に行けなかった人たちのこと)が新宿で開かれました。部分日食の成果を話したり、シベリアの人達はどうだったろうかと心配したり、ワイワイガヤガヤ、それはさわがしい会でした。山口先生への国際電話が通ぜず、結局、NHKのニュースから成功したらしいことがわかり、これで観測報告会が開けるぞと一同一安心。
- ◎ 宮崎の遠山御幸さんの"シベリア日食における本影と半影の移動"の記事は、観測地に月の 影がどのように入ってくるか、また観測地を移動した場合に図より接触時刻、位置角を読みと ることを目的としたものです。今回の日食前に掲載できなかったのが残念ですが、このような 予想をたてておくことは今後の遠征で役立つことでしょう。

 スタッフ
 山口正博宗谷洋一塩田和生足立際史土屋義雄中村幸夫

 撮原雄夫越治

日食情報 1981 463

1981年9月27日発行(200部)

発 行: 日食情報センター (代表者 山口 正博)